

予 算 特 別 委 員 会

● 質問者

鈴木 亮寛 (いばらき自民党)

青山 大人 (民主 党)

大内 久美子 (日本共産 党)

鈴木 定幸 (いばらき自民党)

井手 義弘 (公 明 党)

館 静馬 (いばらき自民党)

江田 隆記 (自民県政クラブ)

小川 一成 (いばらき自民党)

白田 信夫 (いばらき自民党)

については、昨年の第四回定例会でも質問したが、堰の改修など長寿命化対策の実施に向けたその後の進捗状況と今後の具体的な見通しは。

農林水産部長 昨年度から地元の新治土地改良区などと協議の上、施設の長寿命化を図るための事業計画を策定し、今年度から国庫補助事業として事業に着手した。今後は、平成二十九年までの四年間を工期予定として、国へ予算確保の要望を行うなど計画的に対策工事を進めていく。

(ほかに、児童虐待対策、米価下落対策なども質問)

大内久美子委員(共産) 霞ヶ浦導水事業は本年八月に事業継続が決定した。しかし、事業の継続は生態系などの破壊や霞ヶ浦の水質悪化を招くとともに、市町村と住民の新たな負担となる。事業を中止し県民の生活を守るべきだが、所見は。

知事 生態系の保全については砂ろ過施設の設置など国において適切な対応が取られると考える。霞ヶ浦の水質についてもリンなどの数値から浄化効果が期待できる。都市用水の確保なども踏まえ、霞ヶ浦導水事業による水源開発は必要不可欠である。

(ほかに、保育所の改善、TX沿線開発の学校建設なども質問)

鈴木定幸委員(自民) いわゆる従軍慰安婦について、これまで強制連行の根拠の一部とされていた体験証言が、八月に大手メディアにおいて虚偽と認められたが、既存の教科書には強制連行を連想させる表現が散見される。今後、慰安婦についてどのように教育していくのか。

教育長 歴史教育については、これまでも、生徒の多面的・多角的なものを見方・考え方を育てられるよう、授業の工夫改善を各校に指導してきたが、

慰安婦についても、偏った見方に陥らないよう、様々な資料を活用するなど適切な指導を行っていく。

井手義弘委員(公明) 東日本震災の被災者で住宅を自力で確保することが難しい人のための災害公営住宅の整備が進められているが、入居の申込みが少ないなど使われていないことは残念である。この現状をどう改善していくのか。

知事 五月に応急仮設住宅入居者を対象にアンケート調査を実施し、九月からは個別相談会などを開催して、個々の事情に合った、情報提供を行っている。福島県などからの被災者も含め、被災者の立場に立ったきめ細かな対応に心がけていく。

(ほかに、ベトナムへの訪問、いばキラTVの方向性なども質問)

館静馬委員(自民) 学校給食における地場産物活用割合を向上させるため、学校給食と生産者などをつなぐコーディネートを導入し、第三次の茨城県食育推進計画で県独自の算出方法による地場産物活用割合の目標を五十割以上として、日本一を目指すべきである。今後の取り組みは。

教育長 コーディネーターが売り手と買い手を仲介する茨城県農産物マッチングサイトの導入を検討していくとともに、活用割合を五十割以上とする目標値を視野に入れながら、日本一を目指し取り組んでいく。

(ほかに、要支援児童への対策、茨城をたべよう運動の推進も質問)

江田隆記委員(自民) 全国のがん診療連携拠点病院※の四割が厳格化された新たな指定要件を満たしていないとの報道があったが、県内九箇所の拠点病院は新要件を充足できる見込みな

か。

保健福祉部長 新要件では手術件数や患者数など一定以上の治療実績を満たすことなどが求められるが、県内全ての拠点病院が主な要件を充足している。来年二月の更新審査に向け、県としても推薦書の提出など、指定を受けられるよう努力していく。

(ほかに、認知症対策の充実、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進なども質問)

小川一成委員(自民) 守谷市の滝下橋が交通事故で損傷し、通行止めになった。これにより激しい渋滞が発生し、広範囲に多大な影響がでている。県は地元の要望を受け入れ、水海道有料道路の通勤時間帯無料化など、渋滞緩和に迅速に対応したが、一日も早い復旧を求める。見通しは。

土木部長 橋の専門家などと検証の結果、現状での交通開放は危険と判断し、

直ちに応急補強工事に着手している。休日も休まず工事を行い、遅くとも九月二十五日までは普通車の通行ができるよう全力を尽くす。

(ほかに、取手豊岡線バイパスの整備なども質問)

白田信夫委員(自民) 土砂災害対策は、今住んでいる人が安心して住めるような対策が必要である。特別警戒区域に指定された地域に住む住民のための移転施策の拡充と、土砂災害防止のための砂防施設の整備について国に支援を要請するとともに、関係する県単の予算について増額すべきと考えるがいかがか。

知事 土砂災害防止施設の整備に係る予算の増額、あるいは区域内の住宅への支援策の充実などについて、国に働きかけるとともに、委員の意見を踏まえ、県単の水路整備などについてもこれから十分に検討してまいりたい。

お知らせ

今回の、平成26年第4回定例会は、10月31日から11月14日までの15日間の会期日程で開催予定です。

月日	曜	議 事 予 定
10.31	金	議会運営委員会 本会議 (開会、知事提出議案説明)
11. 1	土	
2	日	
3	月	(文化の日)
4	火	休会 (議案調査)
5	水	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑)
6	木	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
7	金	休会 (常任委員会)
8	土	
9	日	
10	月	休会 (県出資団体等調査特別委員会)
11	火	休会 (安全・安心を実感できる地域づくりに関する調査特別委員会)
12	水	休会 (決算特別委員会)
13	木	休会 (議事整理)
14	金	議会運営委員会 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

議会人事

◆議員辞職
八月十二日付で石川多聞議員(水戸市選出)が辞職されました。

※【がん診療連携拠点病院】…肺、胃、大腸、乳房など主ながんに対し、手術、放射線治療、化学療法などを総合的に提供できる国が指定する病院。